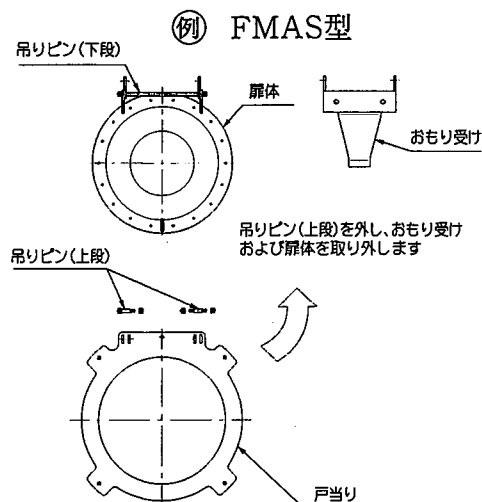


【フラップゲートの据付手順】

FMAS・FKAS（アンカー取付 戸当りタイプ）

① 戸当りから おもり受けと扉体を取り外す

上部にある吊りピン(上段)を左右とも取り外し、戸当り本体から おもり受けと扉体を取り外します。



② 壁に、戸当りをアンカーで取り付ける(仮止め)

全部で数カ所あるうちの、上部の1点を一番最初にアンカーで止めます。

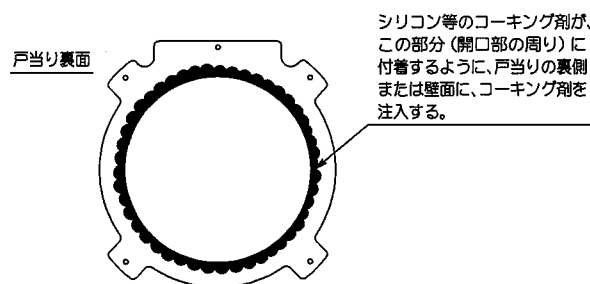
次に右下(左下)、次に左上(右上)という順番で止めていくと効率的です。

※この段階ではまだ仮止めですので、アンカーのナットは軽く締める程度にしておいて下さい。

③ 戸当りと壁の隙間をコーキングする

全てのアンカーの仮止めが終わったら、バール等で戸当りと壁の間に5～6mm程の隙間を空け、空けた隙間にコーキングガン等で、シリコン等のコーキング剤を注入します。

※コーキング剤は余り多い必要はありませんが、開口部に満遍なく注入して下さい。



④ アンカーのナットを締め付ける

仮止めしておいた、アンカーのナットを締め付けます。

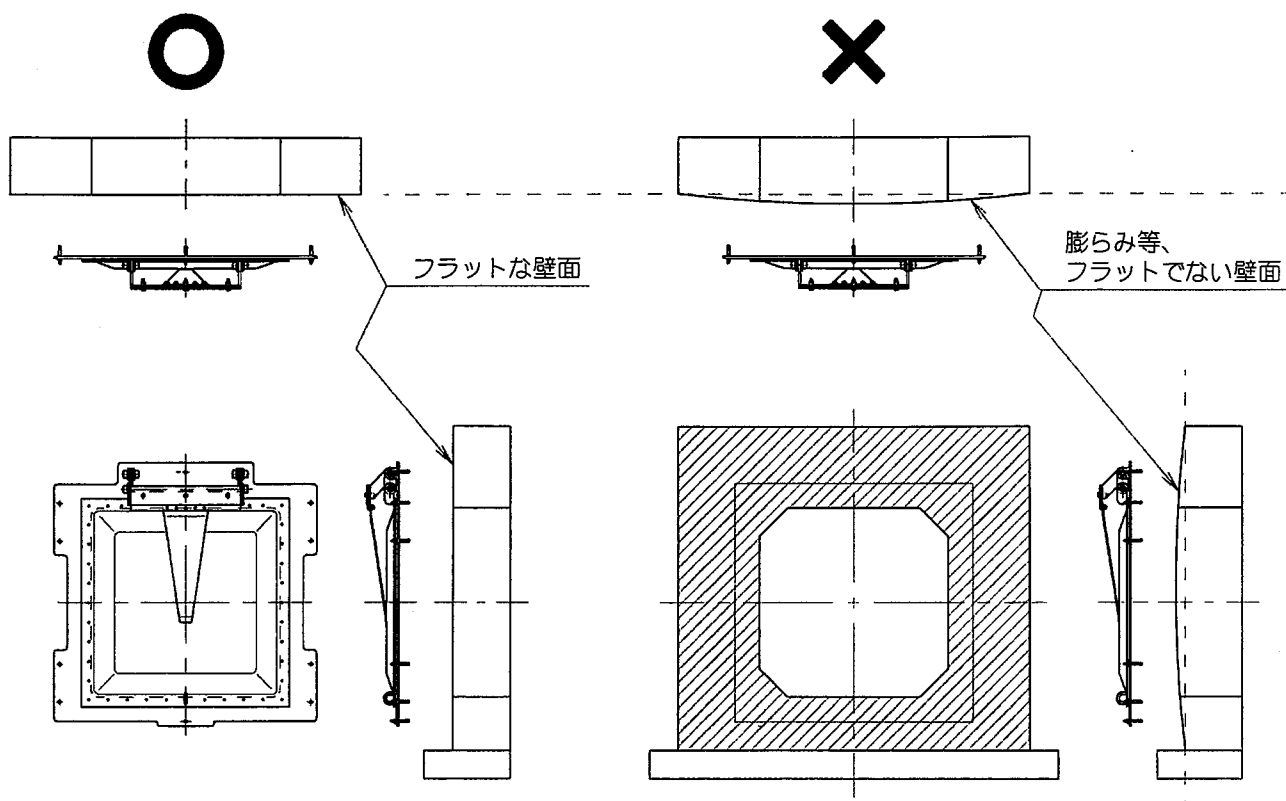
※余ったコーキング剤がはみ出すので拭き取して下さい。

⑤ おもり受けと扉体を取り付ける

戸当りから取り外しておいた おもり受けと扉体をセットし、吊りピン(上段)を取り付けます。

壁面がフラットな状態である事を確認して下さい

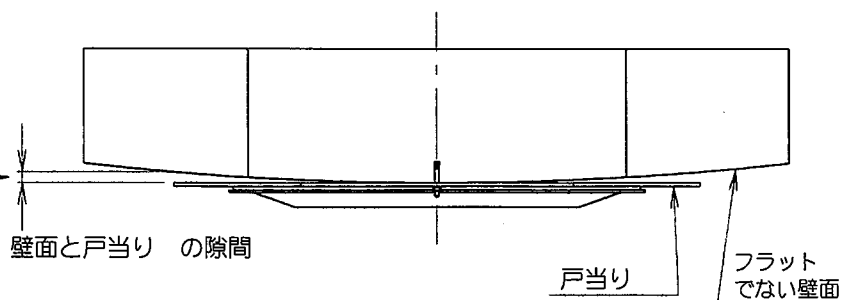
壁面がフラットでない状態(歪み・膨らみ等がある状態)で取り付けると、壁面に沿って戸当りが変形してしまい、水密ゴムが戸当りに密着しなくなり、そこから漏水する原因になりますので、フラットでない状態の壁面には取り付けを行なわないで下さい。



フラットでない状態の壁面に
取り付けた場合に漏水する理由



フラットでない壁面に
フラップゲートを設置すると
壁面と戸当りの間に隙間が
生じています。



この状態でアンカーを打ち込み
ナットを締めると、壁面に沿って
戸当りが変形してしまいます。

戸当りが変形してしまうと、
扉体の水密ゴムが戸当りに密着
せず、そこから漏水する
原因になります。

